



●歴史通信担当 大石より。

今までここでのコメントは前の月のおわりにその月（今号の場合は1月末）のコメントを載せていましたがどうしても月遅れのメッセージになるので今号から当月（今号の場合は2月末）のコメントを書くことにします。

・・・○2月27日 大石コメント。

さて、今月もあと1日で3月を迎えますね。

何となくですが..コロナ禍の騒ぎも落ち着いてきたような気がします。

国民の話題はワクチン接種に移っていますがマスコミ報道は菅総理の長男の総務省役人への汚職疑惑で賑わっているようです。

ところで、「八期歴史会往来の2月は…」新聞切り抜きを中心にいろいろなやり取りがありました。

西郷さんの周辺にまつわる話題（史実）と、戦国島津の話題も結構ありました、はっきり言って一部の八期仲間の「歴史探偵ごっこ」みたいなものかも知れませんが。

一方、スマホの方では、LINEの『トーク』八期グループの「おしゃべり」が賑やかなようです。それぞれ、活発に意見が飛び交うのは参加しているメンバーにとってはいいことではないでしょうか？

こんな中でも、目下、病院のベッドにいる仲間もいれば、家で療養中の仲間もいるのではと思います。

SNS や Eメールを通じて昔の仲間の「今の言葉を」リアルタイムに読んだり、聴いたりできるのも励みになっているかもと、思いながら発信しています。

さて、今月、個人的にいちばん関心のあった記事は……………

江戸初期に島津の「琉球侵攻(1609)」の際、総大将だった樺山久高(蘭半田にゆかりがある)のことを川内市の歴史愛好家の二人が調べている途中で、侵攻の際に副大将を務めた平田増宗(この付近で1610年に狙撃された)にも興味を持ち入来峠付近で偶然にも当時の旧道を発見した。……………でした。

実はこのふたりの武将については吉松典子さんにお借りした『琉球の嵐三巻』(陳舜臣)の中でも登場するし、『天地に燦たり』でも登場する興味深々の人物です。

とりわけ、平田増宗は「庄内の乱(1599年に起きた島津の内紛)」で忠恒(家久)ー伊集院忠棟を殺害ーに狙われた。長男の宗次(17歳)は1602年に忠恒の狩に同行させられ伊集院忠真(忠棟の子)共々、射殺された。次男、三男も自殺。実の弟の宗親も1612年に42歳で切腹させられた。

それゆえに増宗とはどんな人格の人だったのか？ 加害者側の本家である忠恒(家久)側の心情とは？

かつての島津家の筆頭家老だった伊集院忠棟側にいた歴史的には被害者になった家老や武将たちの心情？はどうだったのか？ 知りたいと思う。

ネット上でも天下分け目の「関が原の戦い」を挟んであった島津家の騒動ー『庄内の乱』前(1599)と後(1602)、それに1609年の琉球侵攻ーは全国の歴史探偵団の興味は尽きないことでしょう。

**来月はさあ！！花見だよ！！コロナは飛んでいけ！！**

実は、忘れないようにと、マウス人生60年の記録を今、作成しておかないと一生忘れてしまいそうで得意の??YouTube動画に仕上げようと、とりかかってしまいました。

<https://youtube.com/c/kjoishi>

昨年末から又健康に赤信号の灯る 同期生が増えてまいりました。

コロナも用心ですけど、どうかくれぐれも体内赤信号に留意してお過ごしてください。

2月1日

○お疲れ様

60年×年間営業日数×1日の頭数=?

添付ファイルはじっくり読ませていただきます

まず60年とは半世紀以上の長きにわたるものです

それは次のステップへのスプリングボードかもしれません。

これからも意外と長いかもしれません、きっとそうです

緩々と猿来ましよう =====西山 和宏

○ 大石くん

忙しい中での八期通信まとめありがとうございます。

大石くんにとっては、去年の12月から今年の1月は嵐のような日々だったことでしょう。

改めて、長い間の美容院経営お疲れ様でしたと申し上げます。

これも、日頃の精進と健康に恵まれてのことでできたことでしょう。

これからの人生に幸あれ!

クマモト

○2月2日 大石コメント

どうなる馬毛島?!

反対側の理由はともかく、現地の住人の半数が賛成ということは…

○大石さん はじめ 八期会皆様へ

情報 メールいただきありがとうございます。

反対派の市長が当選したが、加藤官房長官は基地建設に前向き、今後ますます、反対派、

賛成派いりまじり、世間を惑わすこととなるでしょう。

日刊ゲンダイ 1月28日によれば、辺野古新基地を作りたがっているのは、日本の

陸上自衛隊で これに先立ち、陸自はすでに与那国、石垣、宮古、奄美などに着々と基地

建設し、それを「南西諸島戦略」と呼んでいるが、その行く先が陸自の辺野古移駐であるとの

記事が出ておりました。 ややこしくなりそうな気配です。

木場 祥雄

○投票率80%で、僅差で反対派の勝利

国は、今後可能な限りの手段を講じて

嫌がらせをしてくるでしょう。

でも、その担当者も3年もすれば代わる

多くの場合、地域振興策は住み難くなるだけ  
地域振興策の恩恵に預かる遠くから来た  
建築土木業者、地元は、そのおこぼれに預かる  
紙面にあるように「丁寧な説明」と言う人は  
権限のない人たちです。

種子島・屋久島の自然は、世界に誇れるものです。

種子島は世界3大砂鉄産地の1つ

屋久島の水は、かつてアラブの王様が求めました。

=====西山 和宏

○有人戦闘機の時代は過去の物になりました

もっと将来を見据えた防衛策に投資すべきでしょう

防衛でもDX（デジタル・トランスフォーメーション）が必要です。

=====西山 和宏

○クマタツコメント

西之表市は市とは言いながら、私見ですが世間的に見れば島であり、狭い地域であり、地縁血縁の強い保守的な地域  
だと思えます。

こういうところで、基地反対の市長が再選されたということは、大きな意義があるでしょう。

ただ、反対・賛成が拮抗しているという結果の僅差での反対派勝利でした。報道によると、同時に行われた市議選でもこ  
れまでよりも賛成派が増えて、しかも上位当選組が多いそうです。

そして、木場さんも書いておられるように、日米の安全保障の問題もからみ、南西諸島全体の軍事基地化なども絡んで  
ややこしい展開になるような気がします。

理想は西山さんの言葉の通りでしょう。

クマモト タツオ

○大石コメント くまたつさんへ

鹿児島に滞在中にあちこち回った保険会社の社長さんの小冊子ですが「ちょっとおもしろい👍」本でした。貰っ  
た本だからあげますが、読んでみたいですか？

○ありがとうございます。

どの場所もテーマも身近にある場所ですが、数えてみると実際に行ったなあと実感できる場所は10ヶ所くらいのも  
のです。

だいぶ巡ったと思っても、実際にはこんなものかと。

コロナでなかなか会えませんが次回会うときをお願いします。 クマモト

○読んでるうちにジージのブログの参考になるのではと思いました。暇なので送ります。切手も余っているの  
で。大石コメント

○2月4日

ありがとうございます。 クマモト

○以下の YouTube 動画を開いてみませんか？ 大石

[https://youtu.be/1k23UIx\\_4Kk](https://youtu.be/1k23UIx_4Kk)

○西山アンサー

素晴らしいものを観ました。

草野の主演、あれから40年、まさに綾小路の決めセリフ

落合信彦、ケネディのダラス暗殺を調べた

確か「2023年の真実」

折角のテレビ出演、照れてか、照明が眩しくてか

横顔のみ、それが売りなら結構ですが

米国在住の日本人は、アジア系の人

やてちるバーバーにしか行かないそうです

庭師とヘアデザイナーは日本人の評判が高い

ロサンゼルスにガーディナーという地区がありますが

日系のガーディナーが多いことが地名になった。

あなたは、新聞にも連載を持っていませんか？

中町の旧青年部会も随分と楽しそうですね

玉龍3年のときの運動会

応援団員が手にはめた白手袋は私が山形屋の卸部で卸値で購入した物でした。

=====

西山 和宏

○2月5日 大石コメント

KTS キャスターの上城さん(『二階堂 進伝記』や『菱刈鉦山』など出版、ジャーナリスト)はぼくの応援者で今も「大石さん、ぜひ一冊本を出しなさい」と、東京から応援・励ましてくださいます。

今回偶然保存していた古いDVDを見直していたら大吾くんのインタビューに出くわしました。

あの頃からぼくたちの後人生が始まると思うとやはり「早かったよ」と思います。

たまたま今日、久米田 彬さんの死亡広告が出ていました。1級下になるのかなあ。親しいわけではありませんでしたが、当時(20代前半の仲間たちの仲間として)の思い出の中にいた人です。妹さんのヒロ子さんの名前もありました。むかし話になるとキリがないのでこの辺で。

○草野大悟くんのこのyoutubeを昨夜見ました。

改めて、個性的な貌のみならず声や動きなどを見ても役者だったなあをつくづく思うことです。

長生きしていれば、あの後、どのような役者になっていたのでしょうか。

天はたくさんのものを与えてくれたのに、肝心な命が短かったことが本当に惜しまれます。

先日、勝みなみちゃんが「鹿児島西警察署一日署長」に就任したことをお知らせしましたが、

昨日の「回覧板」で別添の「地域の安全にし」に掲載された記事がまわってきました。 クマモト タツオ

○前に書いたが、草野を茶毘にふしたとき火葬場で彼のマネジャーが、

マネジャーは役者が死ぬと失業ですと言いながら

草野は新劇界のスーパースターでしたと言っていた

草野の代表的な出演作「怒りを込めて振り返れ」を  
中間くんと一緒に観劇し、楽屋を訪れたとき  
草野、岸田森、悠木千帆の3人は鬼籍に入った。  
今、相棒で大活躍の水谷豊  
あるとき徹子の部屋で  
草野さんと共演できるようになりました  
と嬉々として、語っていたと黒柳徹子が言っていた。  
あるとき、不遇をかこっていた浜田光夫を  
草野が渋谷のバーへ呼び出して飲んだことがあった。  
とにかく、草野は我々が思っているよりも  
すでに大物であったようであった。

40年前、草野の出版記念パーティに井上靖が贈った言葉の中に、  
「役者の40歳は中締め」とあったが  
大団円を迎えることなく逝ってしまった。  
長生きも芸の内と言いますが  
みなさん 草野に負けずに芸達者でいきましょう。

=====

西山 和宏

○大石くんのこのメール見て郵便受けを見ると封書が入っていました。ありがとう。

手に取るのももどかしくすぐ開けて著者のことなど見ました。

「西郷洞窟」と「西郷屋敷」の二つを読みましたが、「西郷屋敷」は私が疎開先から鹿児島市に帰ってきて住んだ家のすぐ下にあったので、周辺は遊び場所でした。

そういうこともあって大変興味深く読みましたが、この著者が朝日生命の鹿児島支社長だったということもわかりました。

私も系図をみましたが、訪ねた西郷屋敷が西郷の島妻との間にできた菊次郎の長男(隆吉)の家で未亡人が住んでおられたとのこと。

これからみても、西郷屋敷を正妻・糸との間の子・寅太郎ではなく、菊次郎をに相続していたのは流石と思いました。

しかし、この著書によるとその後、寅太郎の息子で参議院議員でになった吉之助の手形乱発で屋敷が不動産会社の手に渡ってしまうという悲劇にみまわれたとのことですが、そのようなことは全然知りませんでした。

しかし、安心ください。現在は立派な公園になっています。

この本は、昭和53年3月(1978)に書かれています。まだ私が徳山に住んでいた頃です。

帰ってきたのが1981年です。それから3,4年は多忙で昔住んだ場所が懐かしくても訪ねる暇もなく、やっと訪ねたのはすぐ近くに新幹線が通り、武岡トンネルが西郷公園の近くに開通してからのことです。

この本を読んでいるいろいろなことを思い出しています。周辺のことはブログにもいろいろ書いていますが、また2,3本はブログを書けそうです。

これから一気に読破します。ありがとうございました。

クマモト タツオ

○お役に立ち嬉しいです。 大石コメント

ぼくは読みながら、作者にあなたのブログ『ジージの南からの便り』を教えてあげようかなあと思いました。

市販されていない小冊子かもしれませんが、作者の様子が目には浮かびませんか？

2021年2月6日(土) 14:44 隈元達雄 <[takumamoto2@gmail.com](mailto:takumamoto2@gmail.com)>:

○改めてありがとうございます。

今、急ぎ一冊を読み終えました。

この支社長は鹿児島愛、とりわけ西郷愛が凄い人ですね。

私の知らない西郷の逸話と御本人が西郷を必死に追いかける逸話とが交差してその熱い想いが十二分に伝わってきました。

これを読んで、再度訪ねたい場所や新しく訪ねたい場所が増えました。

どうでしょう。この井口さんをご存命でも相当な年齢に達しておられるでしょうね。

大石くんの言うようにブログのことや鹿児島のことを語り合いたい気持ちになります。

クマモト タツオ

○2月6日

役に立ててよかったです。

この本は永野敦士くんの奥様の洋子さんから「義父がいただいた本だけど大石さん、興味がありそうなので」といただいた本です。

そちらで貴方が何か書く時の参考にしていただければ幸いです。

○永野洋子さんというのはどなたかと思っていました。

敦士くんの奥様でしたか。

大事に使わせていただきます。

今日は早速、西郷小兵衛のことをアップしようと思っています。

クマモト

○大石慶二様

お変わりありませんか。

長い間のお仕事、ご苦労様でした。

「みちよ美容室」をたちあげ、有名な美容室に育てられました。

小生の妻も大変お世話になりました。

小生は、日中友好協会に参加させていただいた上に、予想もしなかった中国に、五ヶ月も滞在する機会を頂き、予想もしていなかった体験を色々とさせて頂きました。小生の人生では、最高の体験でした。心から感謝致しております。

また、これからもたまには交信します。よろしくお願い致します。

竹下嘉郎

○2月8日

西山レポート

## コロナ第三波「失敗の本質」 01

首脳陣が、新型コロナ対策が、どれほどお忙しいのでしょうか？

新型コロナウイルス感染症対策等の政府諮問機関、基本的対処方針等諮問委員会委員、新型コロナウイルス感染症対策分科会メンバー

である小林慶一郎さんが如実に述べておられるものを3回に分けて添付します。

○2月11日

元気ですか。

本田さんからメールがきたので転送します。元気な様子ですね。

現在、先日からの「史跡ひとり歩き」の武の西郷屋敷跡のことを調べています。

法務局で西郷屋敷の地籍を調べたりするうちに、昔私が住んでいた場所の詳細地図を発見したり、昔遊んだ「島津どん」の墓の場所が確定出来たりで

面白いことになってきました。そのうちブログに書くことにします。      クマモト タツオ

隈元 達雄 様

メール、ありがとう！！

5日に退院しまして、やっと、身体が休めました。

何せ、予想より長く、25日間もの入院でしたが、最初の2週間は継続して、24時間昼夜とも点滴注射で、繋がれていたこと、今回の入院は、このことで、ほんとに辛い治療でありました。

何せ、大便(病室にはトイレはありましたが)以外は、ベッドについたままでしたので、「寝たきり老人」で、最後は、左腕が硬直して腫れてきて、点滴も終了となったほどで、自由が利かない、この有様は、自己責任であり、耐え忍ぶことしかありませんでした。

帰宅してからも、立ち振る舞いに支障があるほど、フラフラ安定しない歩き方でしたので、昨日までは、家内の買い物でアッシー君としての運転では外出しましたが、それ以外は自分一人では外出も避けました。

今日は予報でも快晴で気温も17度ほどに上がるとの事であり、足腰のふらつきをやっと解消しそうでありましたので、「ヘラ釣り」に出かけました。

今年の「初竿出し」でした。寒い、水温が下がっている近く(東市来町の山奥のダム湖)の鹿丸湖でしたので、ヘラ君はなかなか深みにいるらしく、餌にも反応しませんでした。昼過ぎになって、やっと大きなヘラ君がきてくれました。(ここは水源が山水であり、冬は水温が下がっていることで、ヘラ君は釣れないので、いつもは出水の荒崎田んぼ【鶴の飛来地】の近くの池まで釣りに行くのです。片道1時間50分の運転なので、今日は、今年最初の「釣り」でしたので、近くの鹿丸湖」にしたのです。

なんとか、ヘラ君の「顔」も見ることができて、満足の、「釣り」でした。

ラインでは、大石さんから教わって、彼も桜島などの写真などを見せてくれており、娘や息子、あるいはオペラの受講生仲間などともラインで交流できるようになって、うれしい事です。 そのうち、ぜひ、会いましょう！！

2021.2.10、      本田 哲郎

「

○寺田屋で壮烈な最後を遂げた有馬新七は、直心影流の達人であった叔父の坂木六郎から剣術を学んだ。

新七の父、四郎兵衛は文武に優れ、島津家の姫君郁子が近衛忠熙に入輿(じゅよ)したとき、付け人の1人にえらばれて京に行き、63歳で死去するまで10数年、京で近衛家に仕えた。

文章に終わり近くに、

「恐れ入った仁三太は悪行が江戸におられなくなり、出水に帰った。....」

文章にもお国訛りができるものであるが、『おられなくなり』は、鹿児島なまりがでたように思われた。

○西山さん、大石さん

こんにちは 八期会のみなさん

新しく 客員論説員になられた 山本 章子さんの論説 興味深く 読みました。

山本さんが 述べておられるように 政府が 既定の事実のような 動きを強引に 進めてくることでしょう。

憲法九条問題も含め 改正をどのように進めていくのか日本の将来 どのような国にもっていくのか ピジョンを示されな  
い、また示そうとしないいま、コロナ対策で手一杯・・・といった感じの政権では 多くを期待することは難しいようです。

私らの時代は 先行き 長くないですが 子供、孫の時代の日本はどんな世の中になっていることでしょうか？ 気がかり  
になってきますが、もう、あきらめ、無関心で 余生をたのしく過ごす・・・ということも 一つの生き方では、思う次第です。

かごしま 街道見聞記 出水筋 ⑱ 読みました。いつも メールしていただき ありがとうございます。

タイムリーに 西山さんのコメント これも 楽しみです。山本 章子さんの履歴などすぐに 調べだしてのコメント びっく  
りです。この方も 興味深く 読みました。 まったく すごい・・・

では また たのしみにしております。

木場 祥雄

○2月8日 大石コメント

西山、木場両氏ありがとうございます

紹介したつもりが、いつも解説をしてもらい感謝します

有馬新七の話、寺田屋訪問の前、永国寺？だったか、墓地を詣でた覚えがあります。

木場くんのメールじゃありませんが勉強になります♡大石

○森繁よりひとことメモ

馬毛島を英語翻訳したら horse hair island と表示されました♪森 繁

○熊毛郡に馬毛島とは、洒落たのでしょうか？ =====西山 和宏

○いつも配信感謝です。

貴重な情報 ご意見 興味深く読ませていただいています。

長崎 諫早 森永

○2月12日 大石より

スマホで早読みしました。今回の作品(文)はコピーしてじっくり読もうと思いますが、『今だから後世に残しておきたい文献』(武の西郷屋敷跡)ーそんな貴重な資料文献になるかも知れませんね。然るべきタイトルを付けて井口氏を紹介した箇所も含めてワード A4 にまとめたらいかがですか？(図や写真入りで)出来上がったらぼくの Facebook でも紹介したいと思います。ほんとうなら出来上がった作品を井口さんに郵送して Facebook にアップする了解をもらう方がいいのかも知れませんね。

○先日大石くんからおくってもらった井口富夫さんの「史跡ひとり歩き」を題材に書いてみました。

ご笑覧ください。 クマモト タツオ

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/>



○クマタツさん

凄い物を読ませていただきました。

明治3年に譲り受けたとありますが

戊辰戦争を終えて落ち着くつもりで手に入れたのでしょうか。

明治4年、廃藩置県を行うために藩兵を率いて上京

明治5年、天皇陛下の西国巡幸に供奉して帰鹿に際し、父の代の借金を倍返し

明治6年、政変で帰鹿、

そして、西南戦争、せつかく手に入れた屋敷も長くは住めなかったことを

思うと可哀そうな気がします。土俵まで作ったのに。=====西山 和宏

○2月14日

line 拝見しました。常盤の西郷家墓地にはもうだいぶ前に行ったことがありましたが、今回また西郷を調べる中で、川口雪蓬の墓もそこにあるということで近々写真写しに行こうと思っていました。

徳嶋仲祐という人は、初めて知りました。法名で同じ墓地に眠っといるとのことですので、明日にでも行ってみようと思っています。

情報ありがとうございました

西郷家の女中「よし」の家に関する件は、現在、本田さんが調べてくださっています。

クマモト

○2月15日 大石

見にくいかもしれませんが南郷くんから LINE 添付で来た資料奥さま LINE に送ります。資料編集前の原紙ですので。iPhone から送信

○たくさんの資料ありがとうございます。

先ほど帰ってきました。

常盤の「西郷家の墓地」にも久しぶりに行ってきました。

さいごう吉二郎など誰の墓かわかるのは少ししかありません。

文字のほとんどが風化か、白い苔で浸食されて読めませんでした。

幸い。徳嶋仲祐の法名・玄道智徳居士はきれいでした。もちろん写真もばっちりです。

ゆっくりブログに書きます。

川口雪蓬の墓も区別がつかません。で、全ての墓標を写してきました。

他のネット上の写真などを見て判別できる可能性がありますからね。

そのあと、荒田八幡宮にまわって石造物の写真を写してきました。

これもいずれゆっくり書きます。

クマモト タツオ

○大石コメント 15日

仲祐さんのこと、たのしみです。

西郷どんの世話したり、新撰組の近藤に斬られたり、と表舞台に現れないさまざまなひとびとを探るこれぞまさに半藤さんじゃないけど『歴史探偵』じゃないですか？

南郷・徳之島グループにも（探索）結果を教えてあげたらいいかもしれません。

○徳嶋という名前が徳之島全員の呼び名だったというのも頷けます。

地元の人しか知らない情報です。ありがとうございます。

昔は、士族以外は姓はありませんでしたからね。 クマモト

○大石コメント

徳嶋仲祐の墓

仲為さんは仲祐さんのお父様です。南郷くんの遠い親戚とのこと。

以下 URL 参照。

興味ある人は南郷くんへ。...

<http://kagopic.com/grave-of-nakayu-ryu/>

○よい話として、読みました。

西郷さんは若者にいろいろなチャンスを与えた人です。東郷平八郎も、その恩恵を受けて英国留学をはたした。

明治になって、頼って来る者がおれば、だれかれかまわず官途に就けたという。

=====西山 和宏

○砂糖の独占販売を維持するために。苛斂誅求なことをしたことが分かります。

ご存知のようにサトウキビは結構重いですよ、その収穫作業は重労働です。

その重労働をさせるために明治の初めハワイ移民が募集された その募集を行ったのは、生麦事件のときリチャードソンが切りつけられる前下馬して行列に敬意を表したヴァン・リード その移民たちが浴衣を仕立て直したのがアロハシャツの始まり。

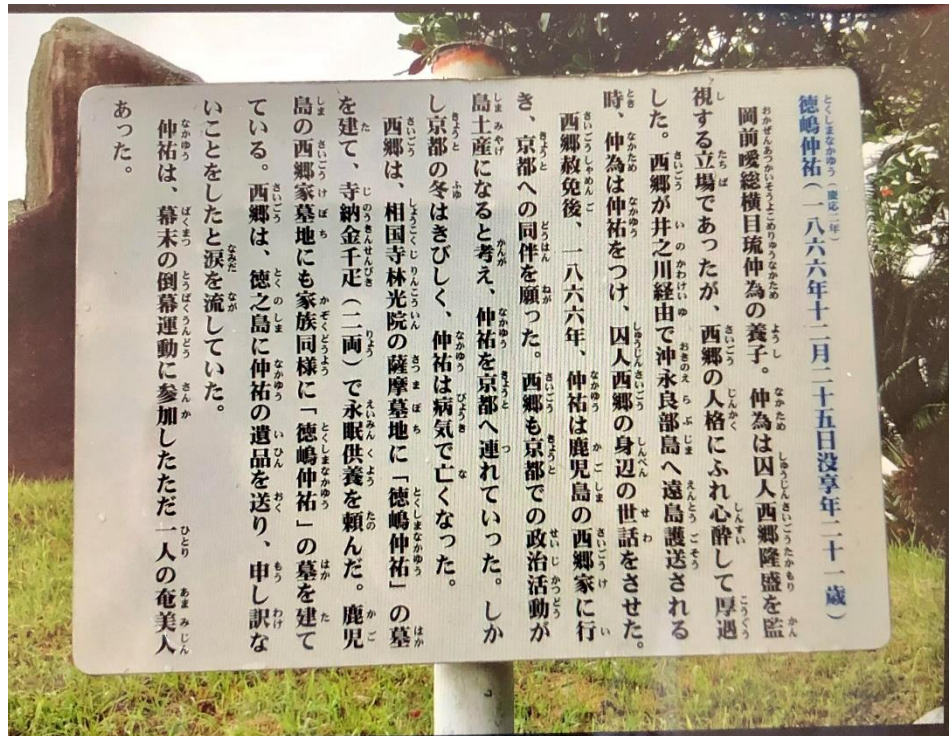
当て字で書かれた報告書をそのまま忠実にタイプ or 印刷しているのは立派です。

=====西山 和宏

○16日 隈元コメント

流石は博識の西山さん、よく勉強していますね。

まさかアロハシャツが日本の浴衣からとは驚きました。 クマモト



○邪馬台国は魏と外交関係を持った勢力にすぎず、日本列島における最大の勢力、ましてや唯一のものだと考える必要はない」には、ああそうですかと思いました。その程度であったから、いまだに、邪馬台国がどこにあったか、示すほどの痕跡がないのかと思ったりです。

好太王とくれば「好太王碑」を思い出します。

神功皇后（じんぐうこうごう）は、妊娠中であつたため岩田帯を締めて、三韓征伐の指揮を執つたそうです。

半藤一利を語る保坂正康。

2人の年の差は9歳。半藤の著作は聞き書きがベースである。先の戦争の責任者の多くが存命し、それらに直接会って話を聞き、または集めて座談会を開いて語らせた。そのようにしてまとめた著作の1つ「日本のいちばん長い日」は、当時、文藝春秋の社員であつた半藤ではなく、大宅壮一の名前で出版された。

半藤は退位前の天皇皇后との座談の相棒に保坂を選んでともなうほど信頼していた。

=====西山 和宏

○箸墓古墳といえば、思い出すのは八期会有志で行った奈良旅行です。

["https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201502240000/"](https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201502240000/) />

古代史い疎い私はただただ頷きながら読んでいます。 クマモト

○16日 木場

新聞切り抜きメール 送っていただき有難うございます。

邪馬台国 は どこか？ いろいろな説があり、関西の人は 纏向遺跡を王宮として築いていたという説を信じています。

最近 昭和五十七年に発行された歴史読本という 雑誌をなぜか 小生持っており耶馬大国が どこにあったか 魏志倭人伝 など 北九州説 いろいろと謎めいたことが多いです。

興味深く読みました。

今後ともよろしく

木場 祥雄

○西山レポートをお送りします。（下に、pdfにて添付します。 大石）

=====株式会社エムエフアイ西山 和宏

○下池君から以下のメッセージと新聞記事が・・・ 大石

生まれてこの方、一度も食したことのない鮎寿司なるものが最近テーマになり気になっていましたが、新聞記事に載ったので転送します。春になったら池や川に鮎釣りに出かけましょう。



MX-2517FN-2021

0216-211110.pdf

○情報ありがとうございます。

鹿児島名物の「酒ずし」などとは違うもののようにおもいますが、その「酒ずし」も食べられない私には食べられるかなあ。 クマモト

3 総合 2021年(令和3年)2月17日 水曜日

# 米軍訓練増加「合理的」

## 河野前統幕長 インタビュー 地元理解が前提

自衛隊制組トップ 南日本新聞のインタビューに応じ、南西諸島隊基盤整備計画について、河野前統幕長は「防衛は『現実』と向き合っている」と述べた。河野氏は「現時点で米軍空母艦載機（F-35）の配備は『現実』として、具体的な計画はない」と述べた。一方、自衛隊のF-35配備については「必要だ」と述べた。河野氏は「米軍の訓練が増えることは合理的だが、米軍機を使った訓練は『現実』と向き合っている」と述べた。

### 揺れる馬毛島

米艦載機F-35の配備が議論されている。河野氏は「現時点で米軍空母艦載機（F-35）の配備は『現実』として、具体的な計画はない」と述べた。一方、自衛隊のF-35配備については「必要だ」と述べた。河野氏は「米軍の訓練が増えることは合理的だが、米軍機を使った訓練は『現実』と向き合っている」と述べた。

### 日本の役割強化必要

河野氏は「米軍の訓練が増えることは合理的だが、米軍機を使った訓練は『現実』と向き合っている」と述べた。一方、自衛隊のF-35配備については「必要だ」と述べた。河野氏は「米軍の訓練が増えることは合理的だが、米軍機を使った訓練は『現実』と向き合っている」と述べた。

○小泉武夫、東京農業大学の先生で大変な食いしん坊、それも自分で調理し食する本格派であるが、

その真似は、あまりしたくないしかし、大変な方

のようです。

鮎寿司、映像でしか観たことはありません。

=====西山 和宏

○2月17日 西山コメント  
「FCLP」で検索すれば、訓練の様子があります

[硫黄島でFCLP - YouTube](#)

馬毛島でのFCLP 訓練は、年間150日、深夜3時までで  
計画と防衛庁は言っているようです。  
でも米軍主体の訓練とのことですから計画や  
予定が守られることはありません。

「取り決めをしっかりとっておけば、占領軍ではないから、聞き入れるはずだ」  
その取り決めの内容が問題で、問題が起こるたびに、いつも問題になっている。  
横田の空域も返して貰えない。  
条約や取り決めは、銃を突きつけられて結んだものであっても守らなければならないこと  
になっている。

力を持たない外交は弱いと言いますが  
海上自衛隊は、米軍との取り決めで、大きな艦船を建造できない米国から購入する戦闘機の  
装備にも制限が加えられているはず  
です。

交付金について、経済的なメリットを言うのであれば進学などで、一度、島を出た若者は、騒音著しい静けさが破られた島には帰らず、鹿児島その他の地域で、経済的に恵まれた職業に就くであろうと言う高校生もいるそうです。

=====西山 和宏

○2月18日  
大石くん 徳島仲佑のことブログにアップしました。  
意見を聞かせてください。 くまもと

["https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202102180000/"](https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202102180000/) />

○早いですね。 大石

○「仲佑が亡くなった慶応2年(1866)12月26日は奇しくも孝明天皇崩御の日であり、京都では激震が走った」

とありますが、崩御が発表されたのは、12月29日。その日を起点に100カ日目の慶応3年3月29日、正親町三条

実愛などが赦免され岩倉具視は入京を許された。===== 西山 和宏

○大石コメント

幕末の薩摩史（西郷と見間違われ）で新選組に殺された徳之島出身ではただ一人幕末史に登場する男徳島仲佑のいろいろな考察とは別に、こちら面白い『庄内に乱』や『薩摩の琉球攻め』の登場人物平田増宗の話です。

今朝の新聞からまた一つ、面白いニュースを提案します。例の平田増宗が狙撃殺害された事件の『解明』です。

・・・平田を襲ったのはなぜ？ちょっと調べてみました。

最初は庄内の乱絡みとっていましたけど？

ネットから…こんな??まあフィクションでしょうけど。 大石

1609年薩摩の島津忠恒(家久)の命で榊山久高を総大将、平田増宗を副大将に総勢3千の兵で琉球討伐という名目  
で出陣、琉球を攻め落としました。

そして1611年までの約3年間、尚寧王をはじめ、鄭廻(謝名親方)重臣等を薩摩に幽閉した。そして同年起請文の署名  
を拒否したとして、謝名親方が処刑される。

ここまでが一般的に知られていることだが、実は1610年幽閉中の謝名親方が、密書(琉球の窮状を訴える文と救いを  
求める文の書であるとの説)を、明皇帝宛に送っている事実がある。これはその当時薩摩の使いで進貢貿易の継続を請  
いに明に滞在していた金応魁らに阻止され薩摩にその密書が届くことになる。

ではなぜ特に警戒厳重の幽閉中の謝名親方の密書が外部に流出できたのでしょうか。

当然手紙などは、査閲しますし、面会も厳しかった筈で、常に監視の目があった

ことは、重々考えられることです。

1610年当時薩摩の権力は三分していました。16代当主の島津義久、17. 18代当主になる、島津義弘、忠恒親子でこ  
の頃の体制を指して「三殿体制」とよんでいました。

義久は、名目上家督を娘婿の忠恒にゆずっていましたが、発言力があり権力を維持していました。1609年の義弘、忠  
恒親子が積極的に推進した琉球出兵にも反対していたといわれますが、ふたりに押し切られたのでしょうか。

琉球討伐総大将は、忠恒の家老榊山久高で、副大将は義久の家老平田増宗である。

もともと娘の亀寿と忠恒の夫妻仲が悪く子もいなかったため、義久と忠恒の関係もギクシャクしていたが、家督を完全な  
ものにしたい忠恒は目の上の瘤である平田増宗を暗殺し、その一族も刺客を送り全滅させたという。琉球攻め功人をな  
ぜいとも容易く殺害したのかなぞである、このとき義久は病気ではあるが存命中であった。翌年1611年に義久が亡くな  
ると、義久の側近たちを肅清したという。そして亀寿姫を国分城に別居させ、あてつけのように側室を8人抱えた。それ  
ら側室との間に39歳から死ぬまでの間に33人もの子女を儲け、それらの子を次々と分家の家督相続や重臣らの養子  
妻として押しつけ、自身に権力を集中させる事に成功したという。

平田増宗は島津の家督相続紛争に巻き込まれ殺されたとありますが、違う説があります。

1610年の先に述べた密書事件が絡んでいるということです。当時、平田増宗は謝名親方の幽閉先の管理をまかされ  
いました。

厳重なチェック体制をとっていたわけです。当時の平田増宗は敵将ながら、謝名親方の知学、博学、忠誠心等を見て謝名親方をよもや武士の鑑と尊敬の念さえ抱く程でした。

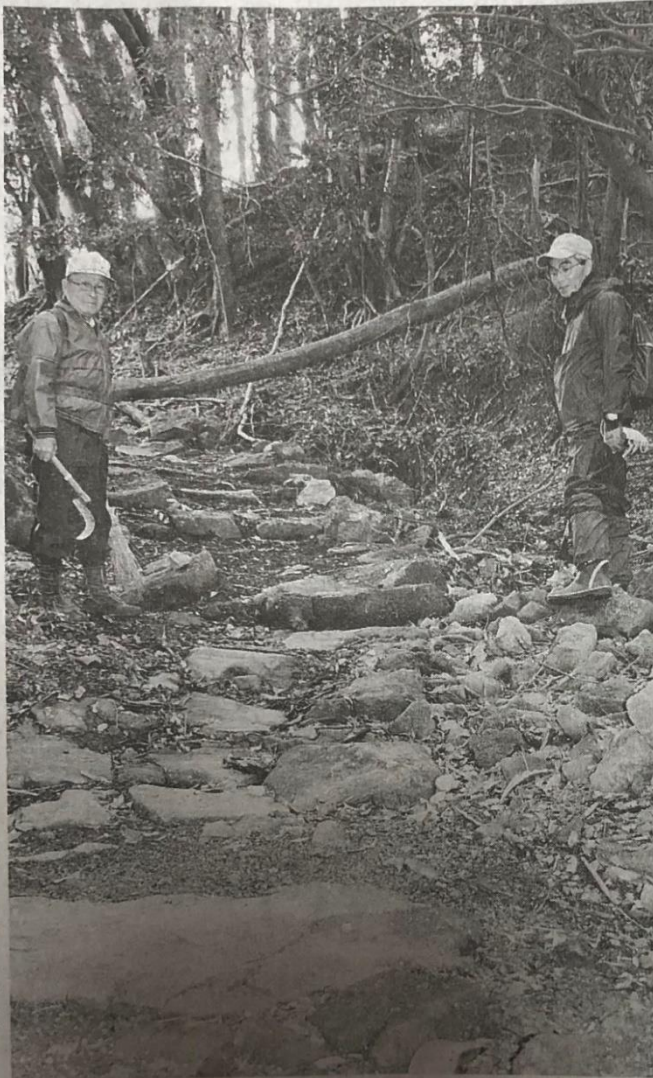
そして謝名の密書を見てもみぬ振りをして査閲を通してしまったわけです。

# 石畳の旧道発見

薩摩川内市の歴史愛好家2人が、入来峠付近の山中で石畳の道を見つけた。島津義久の家老、平田増宗の狙撃現場を捜していた。峠越えの旧道は名称を含め不明な点が多く、「調査や保存の機運につながれば」と期待する。

## 入来峠付近で2愛好家

同市祁答院町蘭牟田の山 江戸初頭の島津氏の琉球侵 平田が入来峠で狙撃され元貞秋さん(77)と藤崎俊明 攻で総大将を務めた、蘭牟 絶命した事件に興味を持つさん(69)。「蘭牟田の歴史 田ゆかりの樺山久高について」  
・観光研究会の2人は、 調べてる過程で、副将だった。 昨年12月から現場を探し



歴史好きの2人が掘り出した旧道跡とみられる石畳

薩摩川内市入来峠近く

## 昔の往来知るきっかけに

始めた。国道328号の西の谷川沿いで形の整った岩を発見。周りの土を取り除くと、約20段に渡って敷き詰められた石畳が現れた。数ヶ先にも道らしい場所を4、5カ所見つけた。

峠近くに住む末吉勇さん(75)は鹿児島市花尾町。中学生の頃には長い石畳の道があり、そこが旧道だと聞いていたと証言する。「実家の田んぼが石畳沿いであり、耕運機を押して通っていた」と振り返る。

開墾や谷川の氾濫で石畳の多くは失われたと見られ、旧道は名称も諸説あるなど不明な点が多いという。2人は、末吉さんの証言を元に鹿児島市郡山側の探索も始めた。「忘れられた旧道を見つけ、昔の往来を知るきっかけにしたい」と意気込む。

(井上喜三郎)

それが後に島津忠恒の知ることとなり逆鱗にふれ殺されてしまった。ということです。

平田増宗が殺された年と密書が暴露された年が同じなのは偶然でしょうか？

尚、この説は人づてに聞いたことを書いたままで、信憑性はありません。証拠もありません。

ただあったとしてもおかしくないと思います。

○語り継がれる物語が、やがて人々が信ずる歴史になる現代の今、語られている真実も、本当に真実かどうか真実だとして語られていることが真実になっている。

石畳、凄い物を見つけましたね！ =====西山 和宏

○第2説は初めて目にしました。

作者も書いているように信憑性も、証拠もないと言っていますが、平田増宗と謝名親方との信頼関係ありとすれば、一笑に付すわけにもいかない説得力を持っていますよね。

島津忠恒(のち初代藩主・家久)は、「執念深く用心すぎる男」だったと桐野作人氏も書いています。自分のライバルとして義久の娘・新城の信久を潰すために、それに連なる人脈を全て皆殺しにし(屋義久の家老・平田増宗やその嫡男の宗

次

、信久 自身も20数年後に侍毒を盛られて死んでいます。それは家久が他界する数か月前だったといえますから、自分の目の黒いうちに心配ごとを全て片付けようとしたのではないかとされています。 クマモト

○18日 隈元くん 大石です。

頭が痛くなりますね。南郷くんの縁から来た「新撰組に西郷さんと間違われ切られた男」の話しの信憑性を考えていたら、今度は平田増宗殺害の真実は？…なまじいささか内容を文献から知っているだけに「興味」と「迷い」に苛まれます。前者では、文春に書いた京都の?に話しを持ち込んだ男性の話しが問題です。…

…元京都鹿児島県人会副会長のA氏が自分のところにある資料を持ち込んだ。……

隈元くんのブログにアップした文章は『小文』としては雑誌に掲載されてもおかしくない面白い文章です。これに、南郷くん側の徳之島親族(実在)の資料を加えるともっと面白い👍桐野作人も興味を持ちそうですね。

一方の平田殺害はやはり忠恒の異常性のなせる技と思いたいですね。ネットの説はこれまたストーリーとしては面白いかもかもしれませんが投稿者のフィクションくさい感じです。

南郷くんから隈元くんのブログストーリーを親族の歴史好きの方に転送してもらい。何か新しいことが(一次資料みたいなものでも)出たら又隈元くんにまとめてもらいたいですね。

○ 大石くん

確かに大石くんの言うように、私も少しか薩摩の歴史を知ること、楽しんでできましたが、たまに迷路に迷い込むこともあります。

今回もそうですが、大石くんがいつも面白いテーマを投げかけてくれるので「興味」の方が先に立ちます。

まあ、認知予防と思いながらこういうことを大いに楽しみましょう。

こういうことがきっかけで「徳嶋仲祐」の一次資料などが出れば、新発見になるので楽しみですね。それを待ちましょう。今日は、これから水曜日に雨だったのでその補欠日としてグラウンドゴルフです。 クマモト

○歴史を探索し・・・大地を穿ち・・・大いなる活躍・・・今、青春真っ盛り  
チェスト！ =====西山 和宏

○青春真っ盛り の気分はいつまでも持ちたいもの。

いや、そのつもりでいます。

自分の実年齢はいつも忘れっぱなし。

実年齢を忘れてるのは認知症？(爆)      クマモト

○20日 大石舜

話しは平田（1600年初）に行ったり、仲佑さんの『徳之島』に戻ったりで、読者はこんがりがっていませんか???

○隈元コメント

4 通のメール受信しました。ありがとう。凄いものを見せていただき感謝です。

平成6年といえば、ほんの最近の事ですが、地元でもこういう顕彰がなされたということは素晴らしいことですね。ここでも「病死」となっていますから、やはりそうだったのでしょう。

今朝これから定例日のグラウンドゴルフです。帰ってゆっくり味わって読みます。      クマモト タツオ

○もし徳之島の墓地画像などをブログにアップされる時は南郷くんを通して提供者の了解を得た方がいいと思います。岩井寿人さんは南郷くんとの関係などぼくは定かではありません。

ラ・サールから東大のエリートみたいですけど。

大石

○いろいろありがとうございます。

今のところ、徳之島の顕彰碑や墓地のことなどまとめようがなく、ブログに書く予定はありません。

もし、その必要が生じたら南郷くんの許可をとります。

いずれにしても、当然の事とは言え、徳之島にもこういう形でその足跡が残されているのに驚きました。      クマモト

○本田 哲郎さま      クマタツより

本田さんにとっては、地元のこと、既にご存じのことと思いますが、私にとっては大変興味深いことなのでお尋ねします。

作家・阿井景子著「西郷の女たち」(1989年8月10日 第1刷 文藝春秋)は西郷家が生活困窮のため加治屋町の自宅を売り払って、上之園で借家住まいを始めたところからの事を、主に「西郷家の女たち」の側から書いています。

そして3番目の妻である糸がその生涯を閉じるところで終わっています。

その概要は次の通りです。

明治10年5月になると、鹿児島市は官軍も入ってきて騒然となり、西郷家の家族も同居する川口雪蓬の勧めもあり、以前西郷家の女中の終身地である永吉坊野に避難する。

それより前、明治9年秋、西郷は女・子供たちを坊野に誘っている。というのは、7年秋、永吉坊野に狩猟に行き、「よし」の家に滞在している。よしは明治初年西郷家の女中を辞した後、同じ集落の仁太を夫に迎え、3人の子供をなしていた。

その時、日当たりの悪いよしの家を見た西郷は、よしの、家族に立派な家を建ててやっていた。当時の坊野では滅多にみられないものだった。

そういう坊野の家に家族に5月1日は避難、遅れること3日後の5月4日、糸も追いかけるように坊野に避難した。その坊野の家を著者の阿井景子さんが、この本を書くに当たり、昭和61年(1986)に坊野を訪ねている。

案内してくれたのは、高柳毅さん(当時南日本新聞社で後に西郷南洲顕彰館館長)と吹上町役場の佐土原伸也さんだったという。



そして、よしの子孫・「黒川ゆきえ」さんに話を聞くことが出来たとある。ゆきえさんはそこに住んでいたが西郷が建て与えた家ではなかった。西郷が建てた家はゆきえさんの住む家の山の上の方に残っていた。そこに住んでいた夫人は西郷さんが建てた家とは知らなかったという。その住人の名前など、それ以上の事は書いてないので、あるいは取材拒否にあったのかもしれない。

平成 29 年発行の「別冊文藝春秋 12 月特別増刊号・永久保存版 西郷隆盛を知る」の中の再び阿井景子さんが書いている「その後の西郷家の人々」によると、西南戦争直後、よし夫婦は政府軍をはばかり、経済的理由で家を売却している。

よしには娘・アサがいた。

以上ですが、現在でも残っているなど何か手掛かりがあれば是非訪ねたいと思っています。

隈元 達雄

○隈元 達雄 様、大石、森、永野 様方へ 本田アンサー

14日に、隈元様から、西郷隆盛の西南戦争の前後に西郷家に仕えた女中の坊野よしの実家(現在治、日置市吹上町永吉、坊野地区)への問い合わせがありました。

小生は、地元であり、西郷さんが征韓論に敗れて帰郷して以来、三州各地に狩に出かけられています。この坊野地区にも「よし」の家に泊まって、狩をしてい事、その後の西南戦争の最終段階でイト夫人一行もその女中の家に避難された事、さらに西郷石(狩の途中に西郷が座ったと伝えられている)や隆盛が使ったといわれている手洗鉢などについては、以前から知っていて、その場所も行ったことがあります。

ただ、詳しい資料が手元にありませんでしたので、「返事」が遅くなりました。

こちらの坊野地区公民館発行(平成16年)の「ふるさと 坊野の昔と今」という「地区郷土史」があり、それに詳しく記載されています。後日、その資料をコピーしてお送りいたします。

西郷隆盛も坊野地区の過去の話・歴史との一旦ではありますが、坊野地区では、全国的に有名な歴史としては、縄文時代初期(約5,000年前)の「洞窟遺跡(女性のミイラまで出土した、住居遺跡、)」と「黒川式土器」としても命名されている「土器類」などが発掘されていることです。この発掘は戦後、昭和27年以降数回にわたって発掘調査が実施され、多くの人骨・獣骨や土器などが発掘されましたが、現在の洞窟跡は前に祭壇があるだけで、遺跡などすべて鹿児島大学や鹿児島県などが保管しているとの事です。

いつか、ぜひ、この坊野地区へもお越しください。事前のお知らせいただければ、小生がご案内いたします。よろしく、ご検討ください。資料はコピーして、郵送いたします。

森繁様、永野和枝様、当地の永吉島津家の始祖島津家久、2代目島津豊久が眠っている、梅天寺跡、天昌寺跡などは来られたことはありますか?! もし、隈元、大石様らが、坊野地区にいらっしゃるのであれば、一緒にいかがですか?! 2021.2.20、 本田 哲郎 099-299-3542、090-6898-4817

T15honda @[ml.satsuma.ne.jp](mailto:ml.satsuma.ne.jp)

○本田 哲郎さま

本田さんが退院直後の静養される中、大変なことをお願いして申し訳ありませんでした。お手数をかけますが「よし」の資料を楽しみに待ちたいと思います。

ご案内の「黒川洞穴」は是非行きたいと思っていた史跡です。ぼつぼつコロナも一段落しそうなので、大石くん、森くん、永野さんも誘って4人で近々行ければいいなと思っています。その節はよろしく願い致します。

隈元 達

本田様

その後お身体の方は順調にご快復のことと拝察しています。

最近隈元君とのメール交換を拝読していて、伊作方面の史跡や遺跡に興味が湧いてきました。玉龍時代河口貞徳先生の指導で考古学部に所属して薩南工業高校近くの遺跡発掘に参加したことなど思い出しています。コロナの感染状態が収まってきましたら歴史愛好家4人組でお伺いしたいものと楽しみになってきました。その際は何卒よろしくご案内の程お願い申し上げます。それまでお身体大切にお過ごしくださいませよう願っています。2021年

○樺山久高(大野七郎久高)の文字を見て「天地に燦たり」の冒頭の場面を思い出しました。

改めて新納忠元、平田増宗、樺山久高の3人をwikipediaで見ると島津家とのつながり、年齢など確認すると、それぞれの生きざまがわかってきました。

「琉球の風」のこの場面では平田は家老で副将、樺山は家臣で大将でという風に逆転している状況のようです。

そこにいた新納忠元は平田より40歳年上の長老という立場でもあるので、平田をたしなめたのでしょうかね。人間関係を調べると面白いことがわかってきました。

我が家の本棚に「琉球の風」3巻そろっていますので、読んでみようと思っています。 クマモト

○琉球の風の作者はもともとノンフィクション作家でしょう。ストーリーは別として登場人物(固有名詞)の史実は史料に基づいているはず。場面場面での年関係や力関係を知ると面白いですね。増宗を鉄砲で撃った(でしたか?)下手人や理由も想像がつくようですね。 クマタツ

○本田さま

先日からメールをいただき

お世話になってます。ヘラブナ釣りのお話初めてお聞きして知識を得たこと感謝しています^o^

本田様の解説私には良くわかります。すぐ一緒に同行したくなり🙏これでよいものかとおもいつつ参加したくなりますがよろしいですか🙏光栄です^o^

西郷家の女中ヨシさんの故郷探訪私にも興味があります^o^西郷家の女達と言う本読んだ事あります！足手まといの私ですが好奇心旺盛な私です^o^ヨロシクお願いします🙏

永野和枝

○昨夜送信したのですが🙏

アドレスミスが発生したので今朝再度送信しました^o^

本田様 LINEにお聞きしたこと解決しました^o^

皆様とご一緒させて戴きます

ヨロシクお願いします🙏

永野和枝

○2月23日 大石コメント

善之助くんと日の屋下がり『西郷家の墓』を訪ねた後先日TVで見に行ってみたくてという照国神社付近の喫茶店を訪ねました。マスターが喜んで西郷の沖永良部流し時代に絞り『西郷の思想』を解釈してくれました。後でFacebookを見たら玉龍出身と書いてありました。やっぱりと...そんな感じです(笑笑)

『人の道』

コロナ禍の今こそ語るべき『人の道』かつての主役、宗教人は『金の道』に走り、家庭での躾教育を担った母親は『利の道』に走り"損得"を崇める。国民風潮は富裕層に入ることだけが『幸福への道』として、目には見えない"心の豊かさ"を無視し続けた。その結果が現代社会の姿です。"心を病む"のが日常の社会なのです。人にとって本当に大切なものは目には見えないのです。

昔々、西郷さんの母親満佐さんは『道の人』でありました。当時の西郷家は家格は低く、借金も抱えて貧乏暮らしの中、五月の節句の時、武家として当然の武者人形や鯉のぼりも買えず、長男吉之助がわら半紙に描いた武者絵を壁に貼り " 節句の祝い " とした事もありました。そんな時、子供達が卑屈にならないようにと子供達の前でこう言ったと伝えられております。「貧乏はなあ、なんも恥ずかしかこっじゃなかど。大事は、貧乏に負けっせえ、人を羨んだりねたんだり、ましてや人の道外れっせえ人もんとなつたい、そいが恥ずかしかこっじゃつど。」

吉之助はやがて成長して西郷南洲となり、

『人の道』を「敬天愛人」に結晶化した。

### 敬天愛人

道は天地自然の物にして、人はこれを行うものなれば、天を敬するを目的とす。

天は人も我も同一に愛し給うゆえ、我を愛する心を以て人を愛する也。

人を相手にせず、天を相手にせよ。天を相手にして、己れを尽くし人を咎めず、我が誠の足らざるを尋ねべし。

### < 南僕解釈 >

『人の道』すなわち、人としてあるべき正しい生き方とは、学び修行する必要もなく、この天地に人として生まれたならば誰もが与えられている天然の真心を " 損得 " や " 情念 " (怒り・憎しみ・ねたみ・嫉妬・性的衝動など)よりも大切な価値観として生きingことを人生の目的とすること。

私達は誰しもが同じ感性を持って生きているのだから、自分がされて嫌な事は人も同じだから決して人にしてはならず、されて嬉しい事をするように努めなければならない。

人からの批判や称賛に左右されず、" 天知る・地知る・我知る " 最終的には自分に恥ない

生き方を選択することが大切だ。そして、物事が上手く行かなくても、決して人のせいにしてはならず、自分の方にこそ誠の至らない処があったのではなかろうかと内なる心に答えを求めることが天地自然の理に適う事なのです。

さあ皆さん、このコロナをきっかけに人間本来の『人の道』を世の中の風潮となし、心豊かな社会造りの為、私達自身が先ず一步を踏み出しましょう。

### -○西山コメント

『人の道』 『道の人』 そうありたいと思えども

まっとうは難しい

大きなこともあれば、小さなこともある

大きなことで踏みはずことなく

できれば、八分程度で寛容願いたい

腹八分と言うように....

過ぎたるは猶及ばざるが如し

### ○隈元コメント

大石くんの録音してくれた「語り」もスマホで聞きました。

春みたいな天気にも恵まれてさぞかし楽しい史跡めぐりだったことでしょう。最後屋敷跡はたどり着きましたか。

ところで、喫茶店は西郷寅太郎(隆盛の嫡子)の孫の「隆夫」氏の経営する銅像横のビル上階にあるところですか。

それとも、別な喫茶店ですか。以前テレビで他にも西郷さんに詳しい人が経営する喫茶店があるようなモノを見た記憶があります。後学のため教えてください。クマモト

## ○西山レポート

大崎町は先に文藝春秋で紹介されたことがあります。



## ○鹿児島・大崎町、SDGs で町おこし 循環型社会構築

2021/2/22 朝刊 日本経済新聞

上の写真は…推進協議会の設立を発表する東靖弘・大崎町長(中央)ら

鹿児島県大崎町が「持続可能な開発目標(SDGs)」を軸にした町おこしに動き出した。2017 年度まで 12 年連続で資源リサイクル率日本一になった記録を武器に「世界の廃棄物問題に貢献する」とのミッションを掲げ、4 月から「地域内容器循環」などの社会実験を始めて企業に参画を促す計画。行政や住民だけでなく、企業を巻き込みながら目指すは「人口 1 万人規模での持続可能な循環型社会の構築」という未来図だ。

「大崎町は小さな町だが、リサイクル率 12 年連続日本一の強みと誇りがある。まずは資源循環の取り組みをアップデートさせ、使い捨て容器の完全撤廃、脱プラスチック実現を優先課題としていく」。20 年 11 月 5 日、東靖弘町長は推進役を担う大崎町 SDGs 推進協議会の発足に向けた記者会見で、こう宣言した。

協議会には鹿児島相互信用金庫(鹿児島市)、南日本放送(同)に加え、保育事業などを手掛けるそらのま(同)、事務局の運営を担うために発足した合作(大崎町)の 4 社が参画。1 月に予定していた設立総会は新型コロナウイルス感染症の影響でずれ込んでいるが、4 月から 4 つ程度のプロジェクトを始める計画だ。

目玉となるのが「地域内容器循環プロジェクト」。使い捨てを前提としていた容器や包装をリユース素材にシフトさせることで、ゴミをリサイクルするのではなく、ゴミの発生そのものを抑制しようという取り組みだ。24 年までに使い捨てに代わる手段

を確立し、27年までにこうした手段の普及率を80%に引き上げ、30年までには使い捨て容器を完全撤廃して脱プラスチックを達成するとのロードマップを描く。

リユース容器・包装の開発では容器・包材メーカーと連携が不可欠。循環全体を管理するシステム構築には、ICT(情報通信技術)企業の協力も必要となる。食洗機メーカーや消費財メーカーなども重要なパートナー企業と位置づけ、企業版ふるさと納税制度を活用して参加企業を募る。初年度はプロジェクト経費として1億円の目標額を設定しており、オンラインセミナーなどを通じて全国の企業に資金拠出や人材派遣を促す。

「大崎町ではゴミは全て分別してリサイクルすることを前提にした回収の仕組みで成り立っている。住民にとっては分別の負担が軽減される分、リユースのほうが確実に便利になる」。合作の斉藤智彦代表取締役は大崎町でリユースにシフトするための社会実験が展開しやすい理由をこう説明する。

このほか「教育」「地球温暖化対策」「産地でのフードロス」などのプロジェクトも進行させる計画。教育プロジェクトの核を担う、そのまの古川理沙代表取締役は「行動する子供を育てると地域が変わる。学校を起点にSDGsに対する地域の温度感を引き上げたい」と意気込む。町唯一の中学校である大崎中学校を発信拠点にプロジェクトを進めていく。

「実証実験の先にあるのは新しい仕事づくり」。町企画調整課の中村健児係長は今回の取り組みのもう一つの狙いをこう明かす。各プロジェクトを通じてこの地域にこれまでなかった仕事を生み出せば、都市部に流出していた子どもたちが帰ってくるきっかけになると読む。(鹿児島支局長 久保田泰司)

=====西山 和宏

○大石コメント

先年、中国人留学生たちをバスツアーで大崎町のリサイクル工事に連れて行ったことがあります。鹿児島でも有数な施設だとそのスケール感に驚きました。町自体の大きさに比べるとかなりの充実感がありました。

iPhone から送信